

**ユーザースサイトの  
オフライン用検出エンジンを利用したオフライン更新  
手順書  
(Linux Server 向け)**

**第 2 版**

**2022 年 4 月**

**キヤノン IT ソリューションズ株式会社**

## 目 次

1 はじめに .....	2
2 オフライン用検出エンジンをダウンロード .....	3
3 オフライン更新手順 .....	4
4 オフライン更新設定の削除手順.....	9

## 1 はじめに

- 本書は弊社ユーザーズサイトにて公開しているオフライン用検出エンジンを使用した検出エンジンのオフライン更新手順書です。
- 本書は、本書作成時のソフトウェアおよびハードウェアの情報に基づき作成されています。ソフトウェアのバージョンアップなどにより、記載内容とソフトウェアに搭載されている機能および名称が異なる場合があります。また本書の内容は、将来予告なく変更することがあります。
- 本製品の一部またはすべてを無断で複写、複製、改変することはその形態問わず、禁じます。
- 本書では、以下のプログラムの操作手順をご案内しています。
  - ・ ESET Server Security for Linux V8.x / V9.x
  - ・ ESET File Security for Linux V7.x
- ESET、NOD32、ESET Remote Administrator、ESET Endpoint Security、ESET Endpoint アンチウイルス は、ESET, spol.s.r.o.の商標です。
- Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

## 2 オフライン用検出エンジンをダウンロード

弊社では、法人のお客さまを対象とした **ユーザーズサイト** という Web サイトを公開しております。

ユーザーズサイトでは、製品のプログラムやマニュアル、また直近のオフライン用検出エンジンをダウンロードすることが可能です。

ここでは、ユーザーズサイトからオフライン用検出エンジンをダウンロードする手順を以下にご案内いたします。

- ① 以下の Web ページよりユーザーズサイトにアクセスして、オフライン用検出エンジンをダウンロードします。

最新のファイルより 3 件分を公開しています。必要なファイルを、任意の場所（例：デスクトップ）に保存してください。

### ■ ユーザーズサイトについて

[https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/87?site\\_domain=business](https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/87?site_domain=business)

- ② ダウンロードしたオフライン用検出エンジンは ZIP 形式で圧縮されているため、任意の場所に展開します。ここでは例として、tmp フォルダー配下に展開します。
- ③ 検出エンジンファイルが展開されたことを確認し、画面を閉じます。

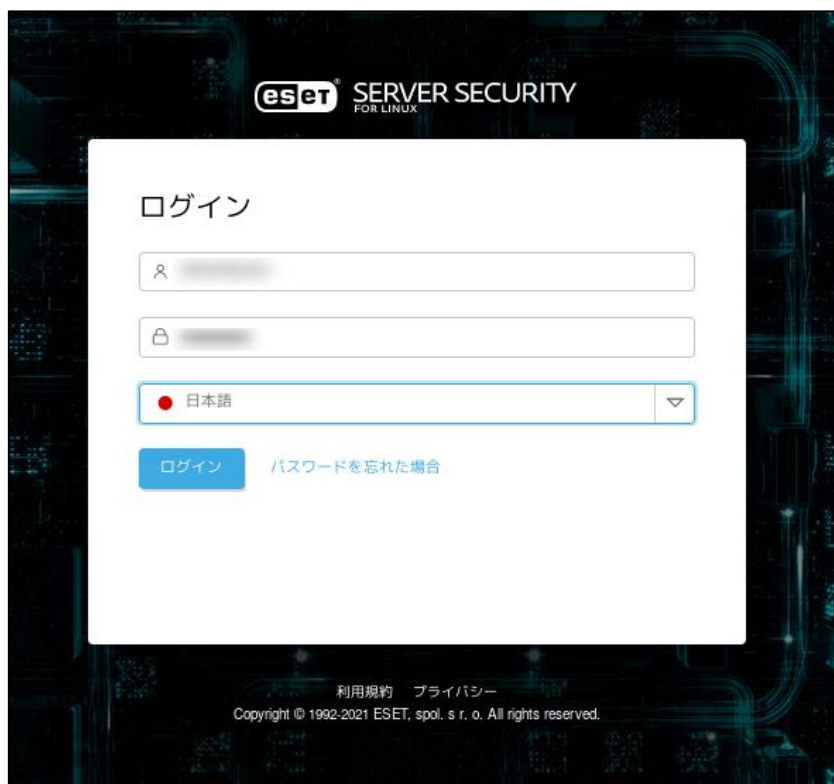
```
ssh-senygR28hes6
systemd-private-33d0eccfca434705b7c2002bee8c4289-bolt.service-SAq09v
systemd-private-33d0eccfca434705b7c2002bee8c4289-chronyd.service-R1oQ4y
systemd-private-33d0eccfca434705b7c2002bee8c4289-colord.service-uoYsw3
systemd-private-33d0eccfca434705b7c2002bee8c4289-cups.service-Hi2ASL
systemd-private-33d0eccfca434705b7c2002bee8c4289-fwupd.service-m7cTys
systemd-private-33d0eccfca434705b7c2002bee8c4289-rtkit-daemon.service-57r0Fz
tracker-extract-files.1000
update.ver
vmware-root_699-3979839557
vmware-root_710-2990613080
yum_save_tx.2022-02-08.10-39.zFnisT.yumtx
yum_save_tx.2022-02-09.06-27.9_6C4l.yumtx
[root@localhost tmp]# █
```

### 3 オフライン更新手順

ユーザーズサイトからダウンロードした検出エンジンファイルを用いて、オフライン環境で検出エンジンのアップデートをおこなうことが可能です。

- ① Web ブラウザーから、Web インターフェースの画面を開きます。Web インターフェースには、以下の URL よりアクセスできます。

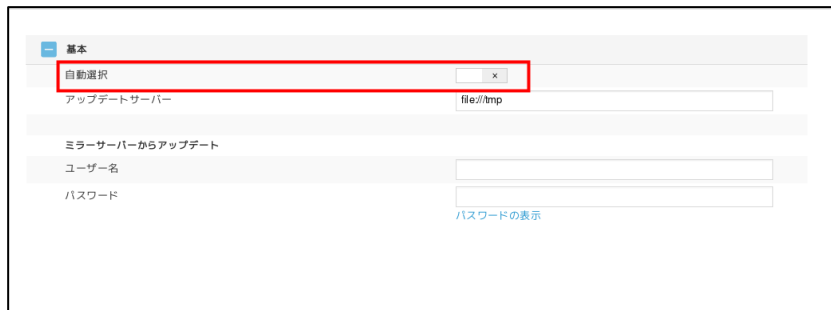
例 : `https://` (IP アドレス:ポート番号)



- ② 基本画面が開きます。画面左側の [設定] をクリックして、[アップデート] → [プライマリサーバー] をクリックします。



- ③ [自動選択] のバーをクリックし、自動選択を無効にします。



- ④ [アップデートサーバー] に、検索エンジンファイルを展開したフォルダーを入力します。  
(例 : file:///tmp)

※ 既定の設定では、セカンダリサーバーとして自動選択が設定されているため、意図せずにインターネット経由でアップデートされてしまう場合があります。  
確実にローカルドライブ/ リムーバブルドライブを使用してアップデートしたい場合は、セカンダリサーバーの設定においても、展開したフォルダーを指定するようにしてください。

The screenshot shows the '基本' (Basic) settings section. Under the '自動選択' (Automatic Selection) sub-section, the 'アップデートサーバー' (Update Server) field is highlighted with a red rectangular box and contains the text 'file:///tmp'. Below this, there are fields for 'ミラーサーバーからアップデート' (Update from Mirror Server), 'ユーザー名' (Username), and 'パスワード' (Password), with a 'パスワードの表示' (Show Password) link.

- ⑤ 画面左下の [保存] ボタンをクリックします。

The screenshot shows the '設定' (Settings) page. On the left, there is a sidebar with navigation links: '検索エンジン' (Search Engine), 'アップデート' (Update), 'プライマリサーバー' (Primary Server), 'セカンダリサーバー' (Secondary Server), 'ツール' (Tools), and 'ユーザーインターフェース' (User Interface). The main content area shows the '基本' (Basic) settings, including the 'アップデートサーバー' field with 'file:///tmp'. At the bottom left of the page, the '保存' (Save) button is highlighted with a red rectangular box.

- ⑥ 画面左側の [ダッシュボード] をクリックして、[モジュールのアップデート] をクリックします。



- ⑦ [確認してアップデート] をクリックして、アップデートを開始します。





- ⑧ アップデート終了後、「前回の成功したアップデート」に記載された日時が更新されたことを確認し、オフライン更新は完了です。

## モジュールのアップデート

✓ すべてのモジュールは最新です

確認してアップデート

前回成功したアップデート: 2022/02/09 14:17:58  
前回のアップデートの確認日時: 2022/02/09 17:14:53

## 4 オフライン更新設定の削除手順

検出エンジンは、既定ではインターネットからアップデートするように設定されています。手順 3 でその設定を変更し、オフライン更新するように設定を追加しました。

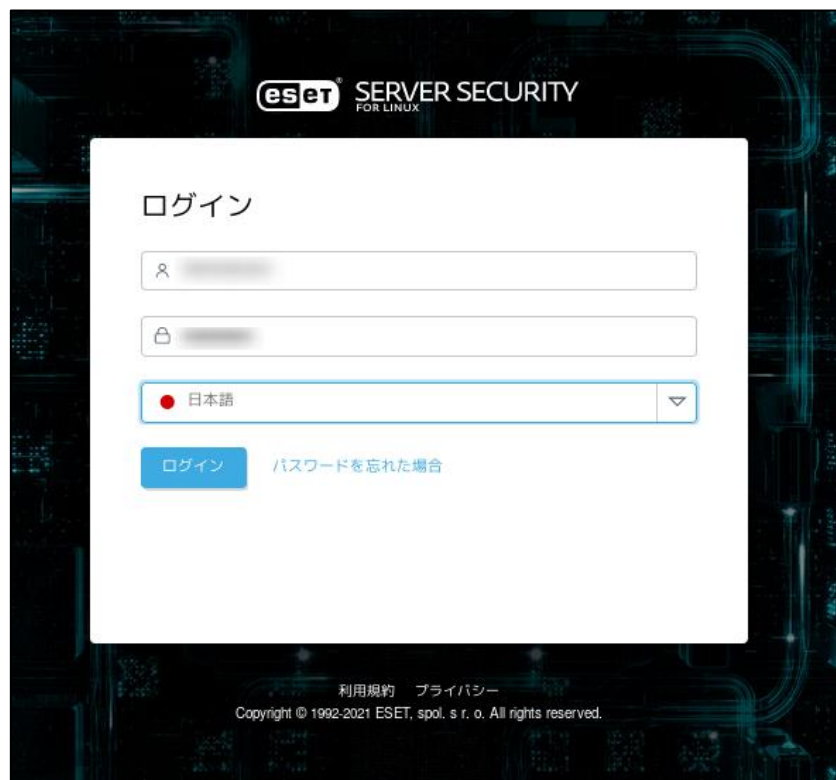
今後もオフライン更新をおこなう場合は、再度手順 3 を参照してください。

なお、今後オフライン更新の必要がなければ、オフライン更新用に追加した設定は削除してください。

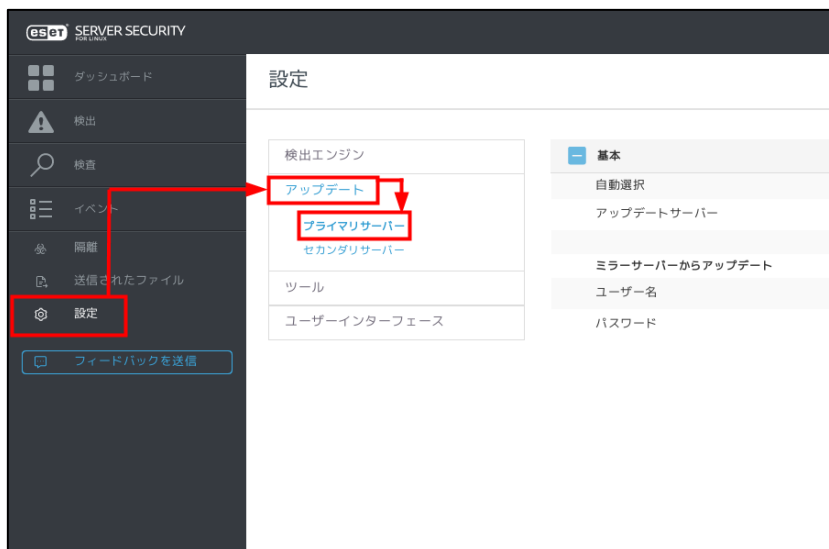
以下に、オフライン更新設定の削除手順と、元の設定に戻す手順を合わせてご案内します。

- ① Web ブラウザーから、Web インターフェースの画面を開きます。Web インターフェースには、以下の URL よりアクセスできます。

例 : `https://` (IP アドレス:ポート番号)



- ② 基本画面が開きます。画面左側の [設定] をクリックして、[アップデート] → [プライマリサーバー] をクリックします。



- ③ [自動選択] のバーをクリックし、自動選択を有効にします。

※ セカンダリサーバーの設定も変更した場合は、同様手順にて設定を戻してください。



- ④ [保存] ボタンをクリックします。  
以上で、設定の削除と修正は完了です。

設定

検出エンジン

アップデート

プライマリサーバー

セカンダリサーバー

ツール

ユーザーインターフェース

基本

自動選択

アップデートサーバー

エラーサーバーからアップデート

ユーザー名

パスワード

[パスワードの表示](#)